

## 伝記を読んで、自分の生き方について考えよう

中心学習材 「百年後のふるさとを守る」(光村図書5年)

補助学習材 「手塚治虫」(ポプラ社)「杉原千畝物語」(金の星社)「マザー＝テレサ」(くもん出版)他

〈育てたい主となる能力〉

- ◎本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。(読オ)
- ◎目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。(読カ)

〈単元を貫く言語活動〉

- ◎伝記を読み、自分の生き方について考える。

### 1 子どもと単元について

子どもたちは、これまでに「読むこと」の学習として、「あめ玉」で、登場人物・時間・場所などの物語の設定、人物の気持ちや場面の变化について学習してきた。また、「のどがかわいた」で、登場人物の人物像や登場人物同士のかかわり合いについて読み取り、構成を意識しながら感想を書く学習を行ってきた。これらの学習を通して、場面の移り変わりに注意しながら登場人物の性格や心情の変化などについて想像したり、登場人物の人物像や相互関係に気を付けたりしながら読むことができるようになってきている。日常の読書活動では、本を読むことが好きな児童が多く、伝記についても、学年の必読図書(城南セクションボックス)を中心に、読む機会が増えてきている。

中心学習材「百年後のふるさとを守る」は、「浜口儀兵衛」の人生を描いた伝記作品である。「稲むらの火」というフィクションの引用から始まり、その後は、浜口儀兵衛の行動や言葉を詳細に取り上げながら、時系列に書かれている。初めて伝記作品を学習する児童にとって、伝記の特徴を押さえた読み方を身に付けるのに適した学習材である。また浜口儀兵衛の生き方や考え方に触れることにより、これまでの経験や考え方とかかわらせながら、今後の自分の生き方に対する考えを広げたり深めたりするのにふさわしい学習材である。

指導に当たっては、次の三つを大切にすること。一つ目は、伝記の読み方を身に付けさせることである。伝記は、児童にとって初めて学習するジャンルである。そこで、描かれた人物の行動や言葉、業績に視点を絞って読ませることにより、描かれた人物の生き方や考え方を読み取ることができるようにする。その読み方を身に付けることで、その後の読書生活にも活用できると考える。二つ目は、伝記を読むことで自分自身の生き方について考えさせることである。様々な人物の生き方や考え方と、これまでの自分の経験や考え方とかかわらせて見つめ直し、今後の自分自身の生き方につなげていけるようにさせたい。三つ目は、友達の考えを基にしながら、自分の考えを広げたり深めたりできるようにさせることである。子ども同士の考えの共通点や相違点を検討する時間を十分に確保し、尊敬できる人物の生き方や考え方をとらえる際の根拠となる文章の違いや、同じ文章を根拠にしている場合でも生き方や考え方のとらえが違いうことに目を向けて話し合いを進めることができるようにするなど、自分の考えを広げたり深めたりする機会を多く設定していくようにする。

### 2 単元の指導目標

- 人物の生き方や考え方を読み、感じたことや考えたことを進んで話し合おうとしている。

【関心・意欲・態度】

- ◎伝記を読んで、登場人物の生き方と自分とかかわらせ、生き方や考え方に対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

【読むこと オ】

- ◎自分の生き方について考えるという目的に応じて、伝記を選んで読むことができる。

【読むこと カ】

- 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(キ)】

### 3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○登場人物の行動や言葉、考え方を読み、感じたことや考えたことを進んで話し合おうとしている。	◎伝記を読んで、登場人物の行動や言葉、業績に対する筆者の説明から人物の生き方をとらえ、自分とかかわらせながら生き方や考え方に対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ◎複数の伝記の中から自分の生き方について考えるという目的に応じて、伝記を選んで読もうとしている。	○伝記の構成について理解している。

4 学習指導計画（全10時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な活用】

第1次  
単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。（1時間）

- ① 物語「稲むらの火」と伝記「百年後のふるさとを守る」を読み比べ、伝記の特色や読む意義について知る。「百年後のふるさとを守る」の感想を交流しながら、今後の学習の見通しをもつ。

<評価> \_\_\_\_\_

- ① 人物の生き方や考え方と自分とをかかわらせながら伝記を読み、自分の生き方について考えていくというねらいを理解し、学習の見通しをもとうとしている。《観察・ノート》

第2次  
「百年後のふるさとを守る」を読み、今後の自分の生き方について考える。（5時間）

並  
行  
読  
書

- ② 「百年後のふるさとを守る」を読み、大体的内容と文章構成をとらえる。  
③④ 儀兵衛の尊敬できる行動、言葉、業績に着目し、儀兵衛の生き方や考え方と自分の経験や考え方をかかわらせながら、今後の自分の生き方につなげていきたいことを考える。  
⑤ 儀兵衛の生き方や考え方に対する自分の考えをグループごとに話し合う。  
⑥ 話し合いを基に、自分の考えを書きまとめる。

<評価> \_\_\_\_\_

- ② 中心学習材の大体的内容と文章構成をとらえている。《発言・ワークシート》  
③④ 行動や言葉、業績についての描写をとらえ、儀兵衛の生き方や考え方と自分の経験や考え方とをかかわらせながら、今後の自分の生き方について考えている。《発言・ワークシート》  
⑤ 友達の考えとの共通点や相違点に着目して話し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。《語り合いの様子・ワークシート》  
⑥ グループでの話し合いを基にして、自分の考えをまとめている。《発言・ワークシート》

第3次  
自分の選んだ伝記を読み、今後の自分の生き方について考える。（4時間）

- ⑦⑧ 自分の選んだ人物について、尊敬できる行動や言葉、業績をまとめ、その人物の生き方や考え方と自分の経験や考え方をかかわらせながら、今後の自分の生き方につなげていきたいことを考える。  
⑨ 人物の生き方や考え方に対する自分の考えを話し合い、自分の生き方について考えたことをまとめる。（本時）  
⑩ 単元を振り返り、伝記を読む意義についてまとめる。

<評価> \_\_\_\_\_

- ⑦⑧ 第2次で学習した内容を活用し、自分とをかかわらせながら、自分の生き方につなげていきたいことを考えている。《ワークシート》  
⑨ 友達の考えとの共通点や相違点に気付き、自分の考えを広げたり深めたりしている。《話し合いの様子・ワークシート》  
⑩ 単元全体を振り返り、伝記を読む意義についてまとめている。《ワークシート》

第2次で学んだ視点に沿った伝記の読み方を活用して、自分の考えをまとめる。

【国語科活用場面】

○作家と作品を重ねて読む。（6年「作品の世界を深く味わおう」）

【他教科等・日常活用場面】

○自分とをかかわらせながら、伝記を読む。（読書）

## 5 本時の指導

### (1) ねらい

自分が選んだ人物の生き方や考え方について、互いの考えの共通点や相違点を明らかにしながら話し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

### (2) 基礎的・基本的な知識・技能を活用する言語活動

前時までの学習では、中心学習材「百年後のふるさとを守る」を読み、尊敬できる行動、言葉、業績からその人物の生き方や考え方をとらえ、今後の自分の生き方について考えた。本時では、その前時までの読み方を活用して、自分の選んだ人物の生き方や考え方に対する自分の考えを話し合い、友達の考えを参考にしながら、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。

### (3) 展開

学習活動	学習内容	指導の手立てと評価
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           人物の生き方や考え方に対する自分と友達の考えを比べ、自分の考えを広げたり深めたりしよう。         </div>		<p>○学習計画に沿って学習課題の確認を行い、本單元における本時の位置付けを確認かめる。</p> <p>○本時は、自分と友達の考えを話し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることを確認する。</p>
<p>2 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 話し合いの手順を確認する。</p> <p>(2) グループごとに、人物の生き方や考え方について考えたことや自分の生き方につなげていきたいことを話し合う。</p> <p>(3) 友達の考えで参考にしたい内容を、ワークシートにまとめる。</p> <p>(4) 話合ったことを基に、自分の考えをまとめる。</p> <p>(5) まとめた考えを読み合う。</p>	<p>○話し合うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が選んだ尊敬できる人物の行動から考えた人物の生き方や考え方。</li> <li>・自分が選んだ尊敬できる人物の言葉から考えた人物の生き方や考え方。</li> <li>・自分が選んだ尊敬できる人物の業績から考えた人物の生き方や考え方。</li> <li>・人物の生き方や考え方と自分の経験や考え方とをかかわらせて、これからの自分の生き方につなげていきたいこと。</li> </ul>	<p>○「百年後のふるさとを守る」での話し合いを想起できるようにし、全員が手順を理解した上で話し合いに参加できるようにする。</p> <p>○友達の選んだ叙述や根拠、つなげていきたい生き方などで自分の考えとの共通点や相違点に着目しながら話し合うようにする。</p> <p>○話し合いが終わったグループから、友達の考えと自分の考えの共通点や相違点を振り返り、参考になる友達の考えをワークシートにメモするようにする。</p> <p>○友達の考えを参考にして、自分の考えをまとめるようにする。</p> <p>○異なる人物を選んだグループ同士で、まとめた文章を読み合うことにより、自分の考えを広げたり深めたりするとともに、他の伝記作品への関心を高めるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈評価〉自分が選んだ人物に対する自分の考えを基に、友達の考えとの共通点や相違点を明らかにしながら話し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート】</p> </div>
<p>3 学習を振り返る。</p> <p>(1) 自己評価をする。</p> <p>4 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○自己評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参考になった友達の考え。</li> <li>・話し合いの前と後の自分の考えの違い。</li> </ul>	<p>○自己評価を行い、自分の考えの広がりや深まりを実感できるようにする。</p> <p>○次時は、単元全体を振り返り、伝記を読む意義についてまとめる時間であることを確かめ、学習の見通しをもたせる。</p>